

～卒業生からの便り～ ④ (第8通目)



第8通目は、別科修了と共に日本での就職を勝ち取ったにも関わらずコロナの影響をまともに受けた先輩の貴重な体験についてのお便りです。



From Taiwan

リュウ カコウ
柳 家呉

2019年春から1年間在籍した中国文化大学の交換留学生。在籍中には、さまざまなイベントに積極的に参加してくれました。



現在の 柳さん (^~)/

私は昨年2月に大阪国際大学から卒業する前に、なんとか関西国際空港のグランドスタッフの内定を確保して、これぞずっと夢見ていたグランドスタッフとして働けると思い、いくつかの研修も乗り越えて、後わずかな一歩で夢が実現すると思った矢先に、コロナで無期限休業に入ることになりました。

最初はすごく塞ぎこんでいました。ろくに外出もできず、念願の仕事もほぼ首確定、入社して早々このダブルパンチを食らった私は、情けないんですが、一層のこと全部諦めてしっぽをまいて台湾に帰国しようかなとも深く悩んだりしていました。

数か月後からは、それまでずっと穴倉暮らしをしてきた分、好きなことにいくらでも時間がかけられるという自分だけのひと時を過ごせるようになってましたね。確かにコロナで不幸な目にあった人は少なからず身のまわりにたくさんいらっしゃいました。でもこういう貴重で膨大な時間があつたからこそ、自分自身を見つめ直すいいチャンスにもなるんじゃないかなと最近になってつくづく思うようになりました。こういう時間は社会人とかになった人にとってなかなかないですからね。大切かつ優雅に過ごしたいです。ポジティブに考えなくては、このコロナ禍から生き抜けないからですね笑。共に頑張りましょう。余談ですが、私も職場からバイトができる許可が下りてきたので、大日にあるGという頭文字のアパレル企業でのアルバイトも始めました。いずれファーストリテイリングの正社員になるのを目指そうと思っています。

最後に大阪国際大学を選んでよかったと思います。悔いなんて1ミリもなくあの在学していた一年間は私にとってすごく大きかったです。先生それから出会った人たちのおかげで私も大きく変わりました。繰り返しますが、大阪国際大学でよかったんです。いつか日本にコロナ終息の日が訪れるよう、お祈り申し上げます。

別科生時代の思い出アルバム♪



春の入学式



伝統文化の授業風景



秋の
稲刈り